

「平成25年4月13日の淡路島付近の地震に おける緊急地震速報に関する緊急調査」報告

「緊急地震速報評価・改善検討会」(第4回)
平成25年7月11日



1. 地震の概要と緊急地震速報の発表状況

平成 25 年 4 月 13 日 05 時 33 分、淡路島付近を震源とする M6.3、深さ 15km の地震が発生し、兵庫県の淡路市で震度 6 弱、南あわじ市で震度 5 強を観測したほか、近畿地方を中心に中部地方から九州地方にかけて、震度 5 弱～1 を観測しました（図 1）。この地震において気象庁は、地震検知から 7.5 秒後の 5 時 33 分 27.9 秒に、兵庫県、香川県、徳島県、大阪府など 2 府 14 県に緊急地震速報を発表しました（図 2）。

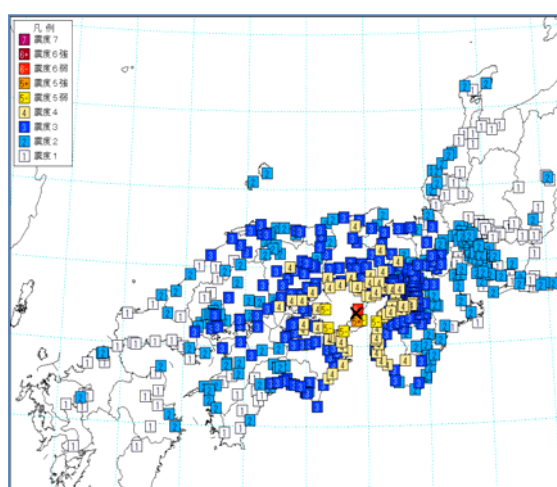


図 1：震度分布図

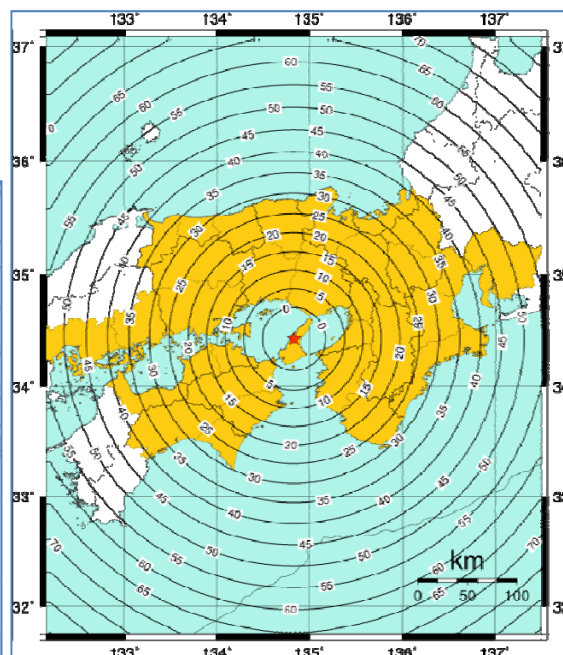


図 2：緊急地震速報の発表地域と、緊急地震速報の発表から強い揺れが到達するまでの時間（秒）

2. 調査の概要

（1）調査目的

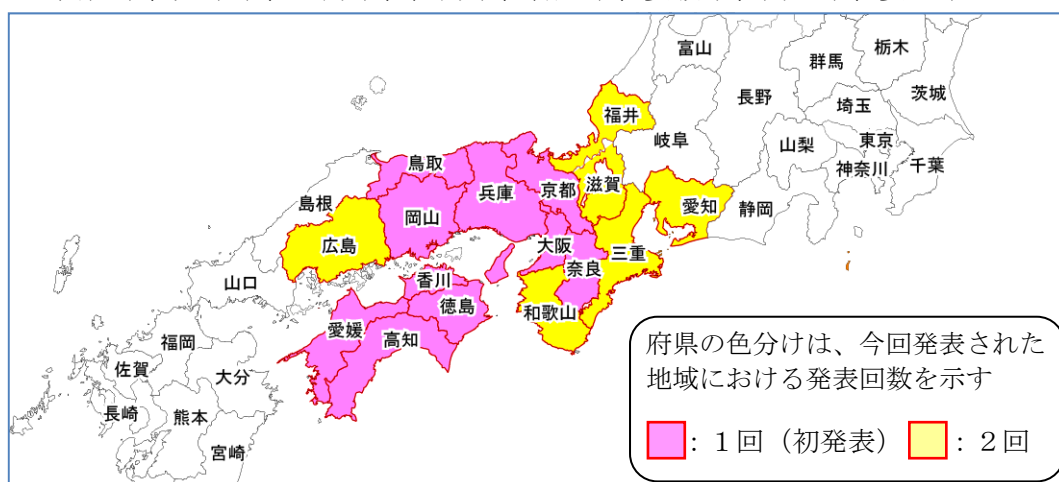
近畿・中国・四国地方の多くの地域では、今回の地震で初めて緊急地震速報が発表されました。気象庁では、今後の緊急地震速報等の普及・啓発活動に役立てることを目的として、緊急地震速報を発表した地域における認知の状況と対応行動を緊急に調査しました。

(2) 調査対象

今回の地震において、緊急地震速報を発表した2府14県に居住する20歳以上の男女。

＜緊急地震速報を発表した府県＞

大阪府、福井県、滋賀県、京都府、奈良県、和歌山県、三重県、鳥取県、岡山県、兵庫県、広島県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、愛知県



(3) 調査手法

インターネットリサーチパネルを対象とした、WEBによるクローズド調査（本調査の実施においては、中森広道 日本大学文理学部教授のご協力を頂きました）

(4) サンプル数・割付

2,000 サンプル。

平成22年度国勢調査に基づく年齢、性別、居住地の分布割合に一致するように割付

(5) 調査期間

平成25年4月19日（金）～23日（火）

3. 調査結果

(1) 調査結果概要

本調査結果の概要としては、以下のとおりです。

- これまで緊急地震速報を見たり聞いたりした経験が少ない今回の調査対象地域の中でも、太平洋沿岸にあり南海トラフ沿いの巨大地震で特に大きな地震・津波の被害が想定されている地域では、認知度が高くなっていました。
- 緊急地震速報の認知度が高い層ほど、緊急地震速報を見たり聞いたりした際に、より早い時点で「緊急地震速報」であることが認識できていました。
- 緊急地震速報を見聞きした人としていない人の対応行動を比較すると、緊急地震速報を見聞きした人のほうが、情報収集や周りに知らせる等の事前の対応行動をとる人が多く、何もしなかったと回答した人は少なくなっている反面、何をして良いかわからず、何も出来なかったとの回答も多くなっています。
- 自由回答欄では、緊急地震速報そのものについての様々なお意見の他、携帯電話について、何の音かわからなかったと言う意見や自分の携帯が鳴らなかったという意見が目立ちました。

以上の結果などから、緊急地震速報についての認識を深めることにより、緊急地震速報が発表された場合に迅速に認知し、迅速な対応行動をとることができる可能性が高いこと、一方で、緊急地震速報を見聞きしたときや地震時の適切な対応行動については、まだまだ認知を高めていくことが必要であることが確認されました。

気象庁では、地震による被害軽減を図るため、より一層、緊急地震速報の特性や、緊急地震速報を見聞きした時や地震発生時の適切な対応行動等について、普及・啓発活動を積極的に進めていきたいと考えています。

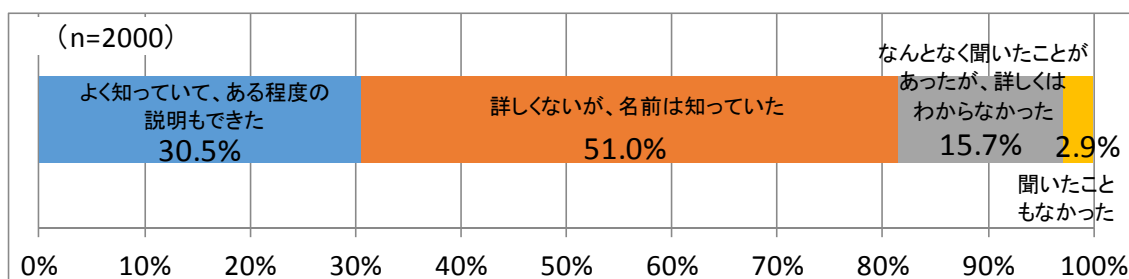
そのほかの調査結果については、次項以降に示します。

(2) 調査結果

集計結果から、緊急地震速報に関する施策に関係が深いと考えられる分析内容の概要は以下のとおりです。

○認知度

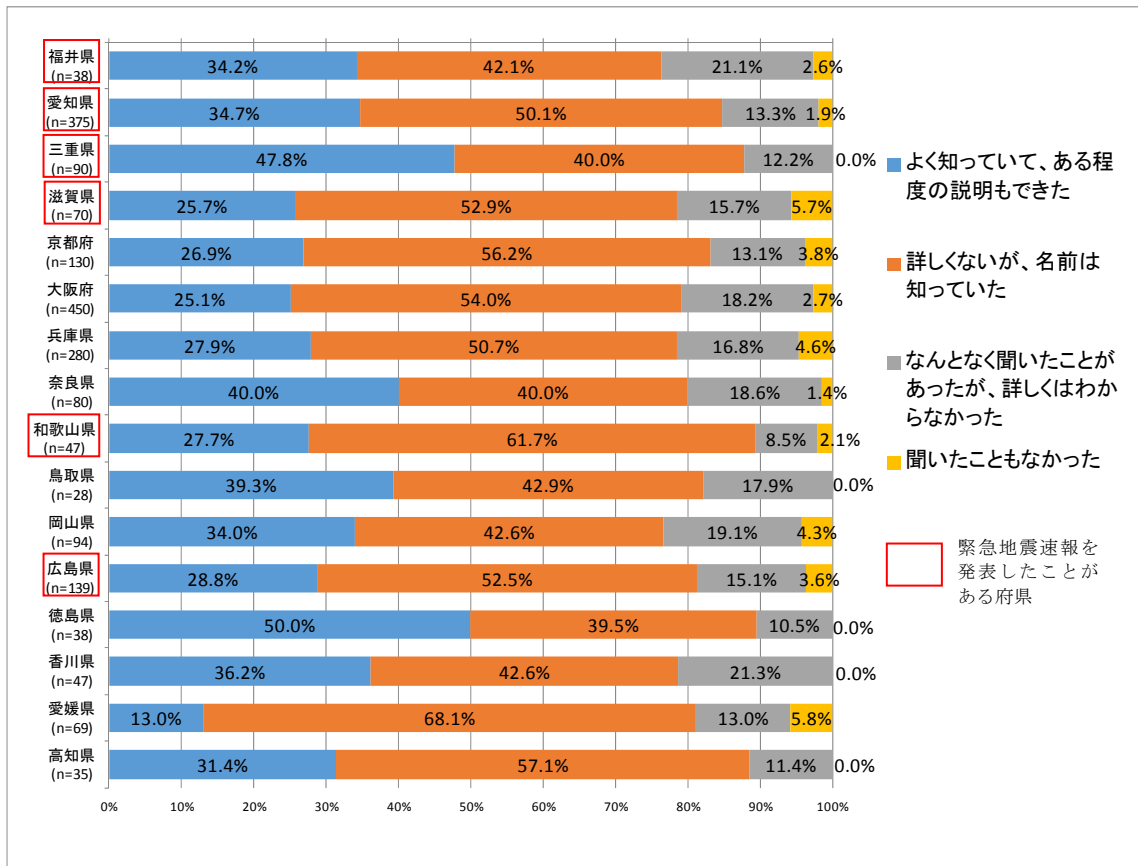
- ・緊急地震速報を見たり聞いたりした経験が少ない地域での調査であったにもかかわらず、多くの人(81.5%)が緊急地震速報を認知していました。



- ・これまで緊急地震速報を見たり聞いたりした経験が少ない今回の調査対象地域の中でも、太平洋沿岸にあり南海トラフ沿いの巨大地震で特に大きな地震・津波の被害が想定されている徳島県、和歌山県、高知県、三重県などでは「よく知っていて、ある程度の説明もできた」「詳しくないが、名前は知っていた」と回答した割合が高くなっていました。
- ・過去に緊急地震速報が1回発表されたことがある6県と、発表されたことがないその他の府県では、傾向に大きな違いは確認できませんでした。

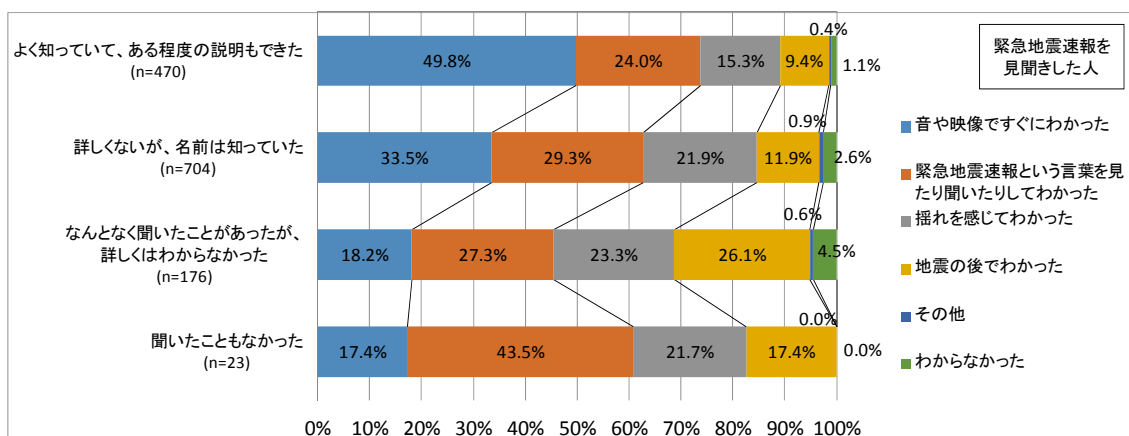
(参考) 今回の調査対象地域における過去の緊急地震速報(警報)発表履歴

- ・福井県、愛知県、三重県、滋賀県・・・1回発表
 - －平成23年3月14日15時52分 福島県沖の地震(最大震度4)
 - －上記4県ではいずれも震度1以上の観測なし
- ・和歌山県・・・1回発表
 - －平成23年7月5日19時18分 和歌山県北部の地震(最大震度5強)
 - －和歌山県内で最大震度5強を観測
- ・広島県・・・1回発表
 - －平成23年11月21日19時16分 広島県北部の地震(最大震度5弱)
 - －広島県内で最大震度5弱を観測
- ・上記以外の府県・・・過去に発表なし(今回が初めての発表)



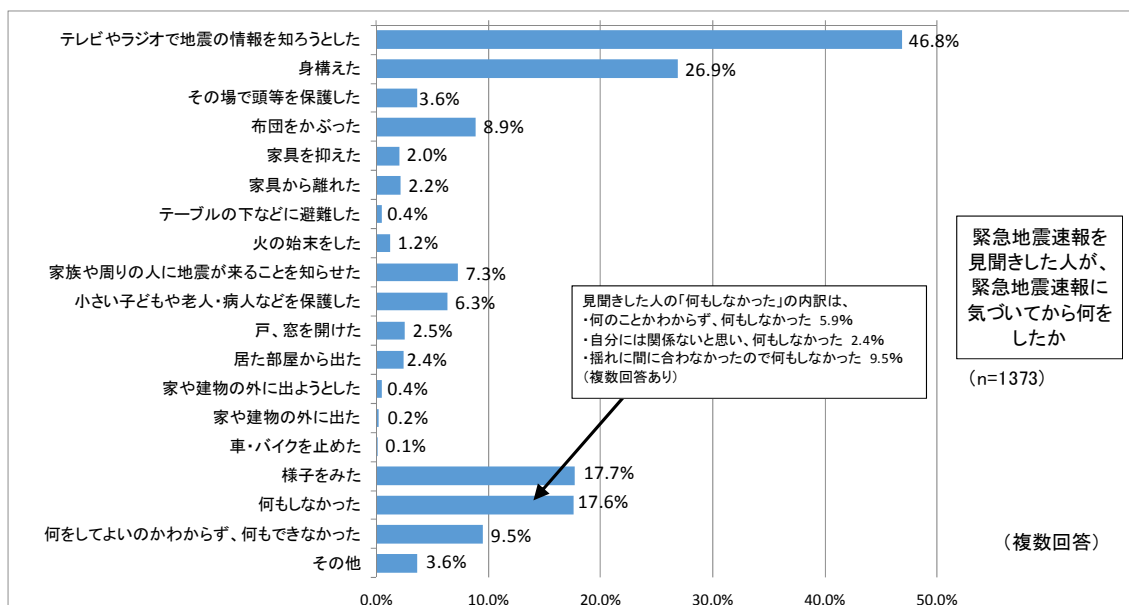
○認知度と行動

- 緊急地震速報を見聞きした人に、どの時点で緊急地震速報であることが確認できたかを聞いたところ、緊急地震速報の認知度が高い層ほど、より早い時点で「緊急地震速報」であることが認識できていました。

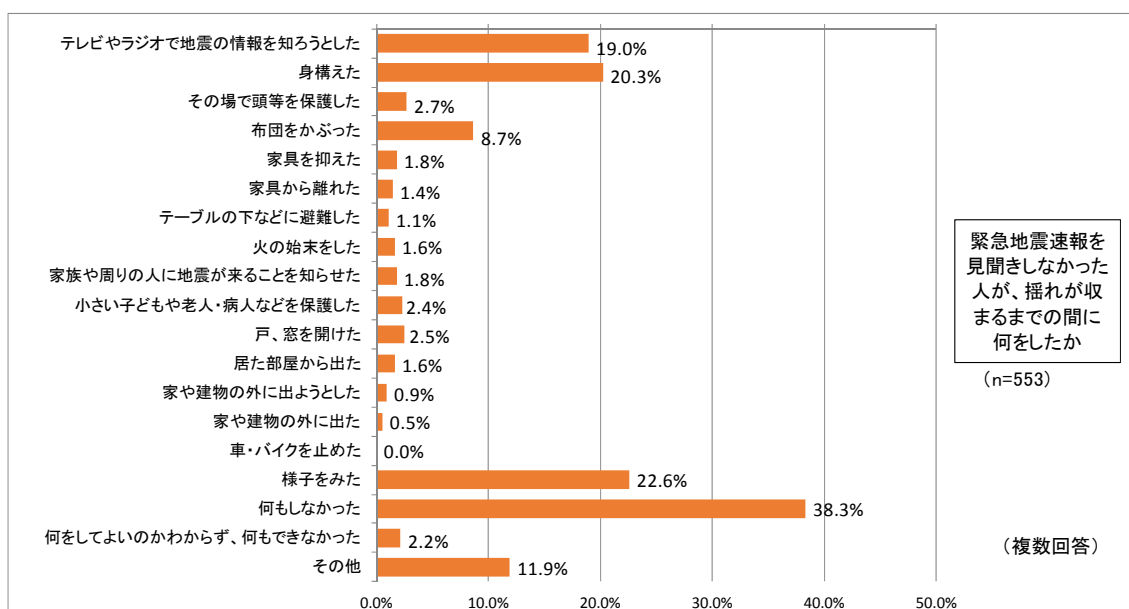


○緊急地震速報の有無と行動

- 緊急地震速報を見聞きした人の対応行動の特徴をしてみると、テレビやラジオで情報を得ようとした、身構えたという人が多く、家族や周りの人に知らせた、小さい子供などを保護したという回答も一定数見られます。



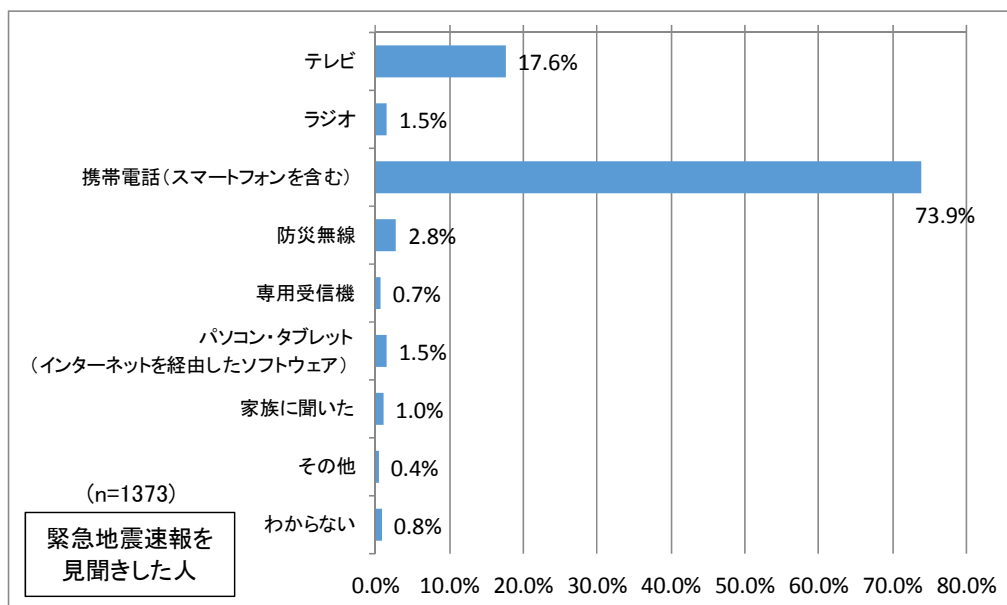
- 同様に緊急地震速報を見聞きしていない人の対応行動の特徴をしてみると、何もしなかったという回答が一番多くなっています。



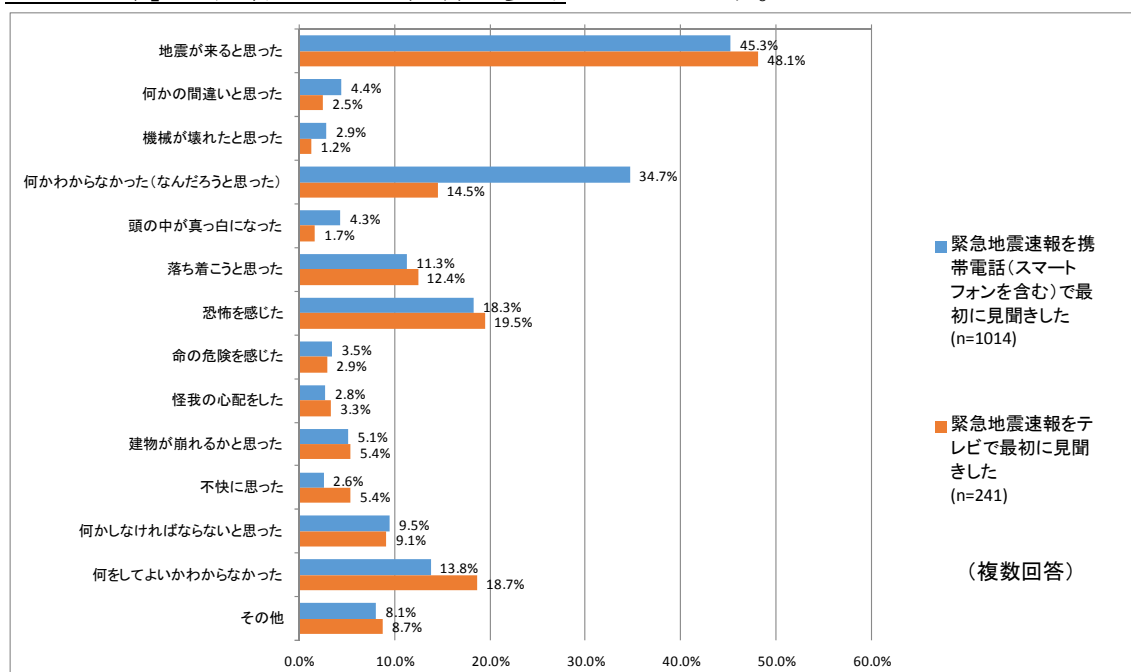
- 2つのグラフを単純に比較することはできませんが、見聞きした人のほうが情報収集や周りに知らせる等の事前の対応行動をとる人が多く、何もしなかったという人は少なくなっています。ただ、何をしてもいいのかわからず、何も出来なかったとの回答も相対的に多くなっています。

○受信手段

- 緊急地震速報を見聞きした人に、最初に受信した手段を聞いたところ、携帯電話（スマートフォンを含む）で見聞きした人が一番多く（73.9%）、次いでテレビ（17.6%）、防災行政無線（2.8%）などとなっています。

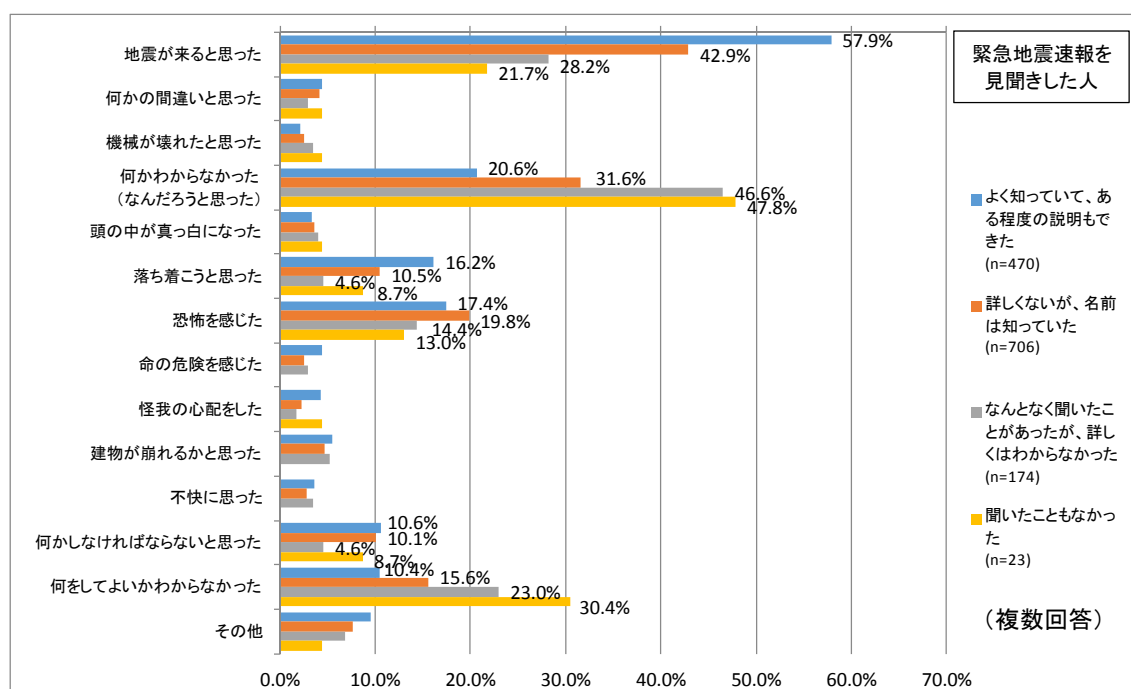


- 緊急地震速報を最初に見聞きした主な2つの手段（携帯電話、テレビ）について、緊急地震速報を見聞きした時に感じたことを聞いたところ、いずれも半数近くが「地震が来たと思った」と回答しています。また、携帯電話で見聞きした人は、テレビに比べて「何かわからなかった（なんだろうと思った）」と回答している割合が多くなっています。



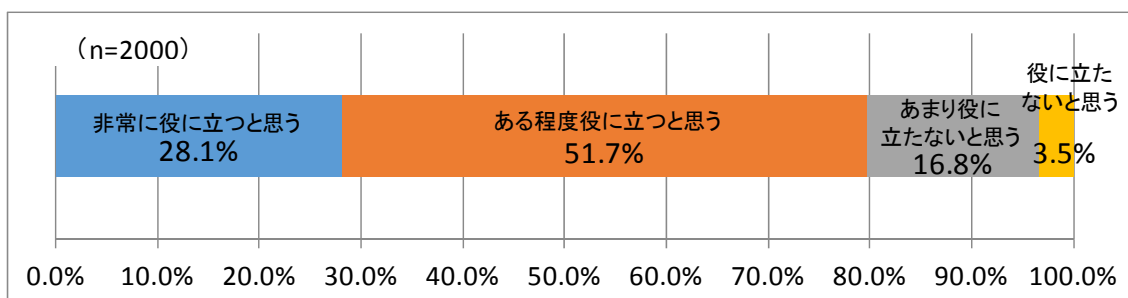
○緊急地震速報受信時の気持ちと認知度

- 緊急地震速報を見聞きした時に感じたことを緊急地震速報の認知度ごとにまとめたところ、緊急地震速報についてよく知っている人ほど「地震が来ると思った」「落ち着こうと思った」という回答が多くなっていました。逆に、緊急地震速報についてあまり知らない人ほど「何かわからなかった(なんだろうと思った)」「何をしてもよいかわからなかった」という回答が多くなっていました。

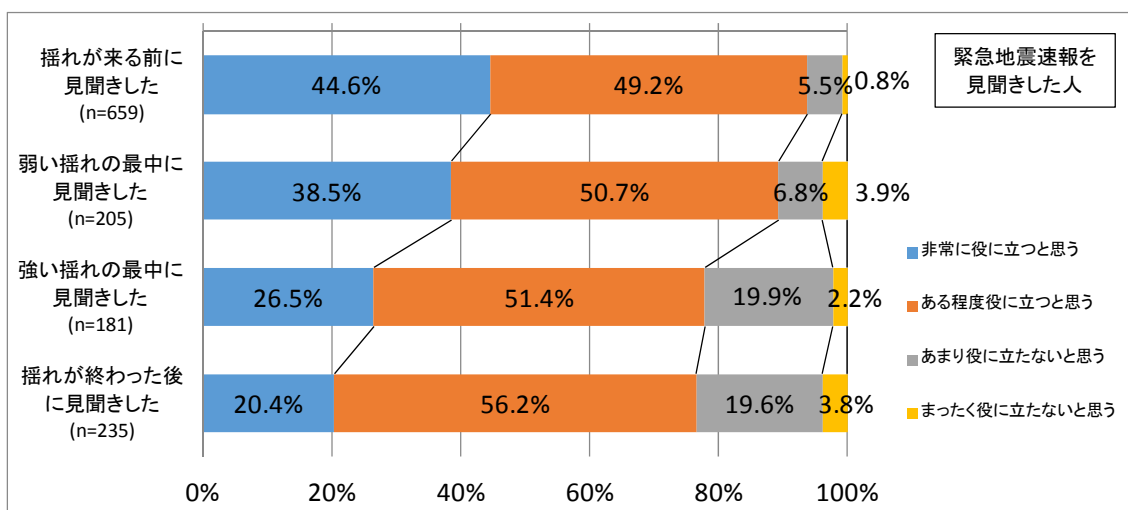


○緊急地震速報の有用性

- 緊急地震速報がどの程度役に立つと思うか聞いたところ、「非常に役に立つと思う」「ある程度役に立つと思う」という回答が合わせて全体の約8割となっています。

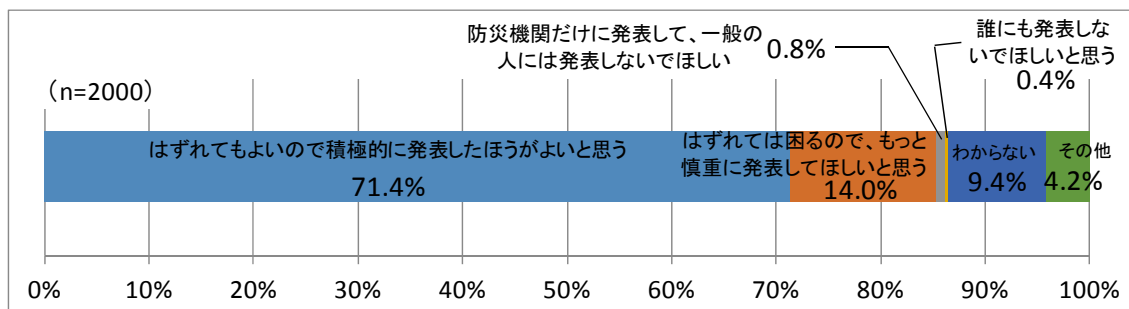


- 緊急地震速報を見聞きした人について、緊急地震速報を見たり聞いたりしたタイミングと、緊急地震速報の有用性に関する印象との相関をみると、緊急地震速報を強い揺れの最中や揺れが終わった後に見聞きした人では、揺れが来る前に見聞きした人よりも緊急地震速報の有用性について相対的に評価が低くなっていますが、それでも75%以上の人が緊急地震速報は役に立つと思うと回答しています。



○緊急地震速報の発表方法

- ・緊急地震速報の発表方法についてどう思うかを聞いたところ、「はずれてもよいので積極的に発表したほうがよいと思う」という回答が71.4%、「はずれては困るので、もっと慎重に発表してほしいと思う」という回答が14.0%となっています。



○まとめ

緊急地震速報について認識を深めることにより、緊急地震速報が発表された場合にいち早く認識し、迅速な対応行動をとることができる可能性が高いことがわかりました。

一方で、緊急地震速報を見聞きしたときや地震時の適切な対応行動については、せっかく緊急地震速報を受けても何をやって良いかわからない人が多いなど、一層の普及・啓発活動の重要性が再確認されました。

気象庁では、地震による被害軽減を図るため、より一層、緊急地震速報の特性や、緊急地震速報を見聞きした時や地震発生時の適切な対応行動等について、普及・啓発活動を積極的に進めていきたいと考えています。